

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【公開番号】特開 2000-126560 (P2000-126560A)

【公開日】平成 12 年 5 月 9 日 (2000.5.9)

【出願番号】特願 平 10-298838

【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 D 65/06

B 0 8 B 3/08

【F I】

B 0 1 D 65/06

B 0 8 B 3/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ペルオクソー炭酸塩を含むことを特徴とする分離膜洗浄剤。

【請求項 2】 過炭酸塩と 2 価の鉄塩を含むことを特徴とする分離膜洗浄剤。

【請求項 3】 次亜塩素酸塩及び過酸化水素以外の酸化剤、界面活性剤、キレ - ト剤、並びに pH 調節剤のうち少なくとも一つを更に含むことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の分離膜洗浄剤。

【請求項 4】 洗浄する分離膜を請求項 1 乃至 3 いずれか一項に記載の洗浄剤からなる溶液に接触させることを特徴とする分離膜洗浄方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明の分離膜洗浄剤は、ペルオクソー炭酸塩を含むことを特徴とするものである。また、本発明の分離膜洗浄剤は、過炭酸塩とともに 2 価の鉄塩を更に含むものである。更に本発明の洗浄剤には、次亜塩素酸塩及び過酸化水素以外の酸化剤、界面活性剤、キレ - ト剤、並びに pH 調節剤のうち少なくとも一つを更に含んでもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、本発明の分離膜洗浄剤は、過炭酸塩による洗浄性をさらに高めるために、2 価の鉄塩を含有するものである。これにより、過炭酸塩中にアダクトしている過酸化水素と 2 価の鉄イオンとの間に下記の反応式に示される、いわゆるフェントン反応が生じて、OH ラジカルが発生する。

